

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年7月16日(2015.7.16)

【公表番号】特表2014-519381(P2014-519381A)

【公表日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【年通号数】公開・登録公報2014-043

【出願番号】特願2014-512945(P2014-512945)

【国際特許分類】

A 6 1 M 15/00 (2006.01)

B 6 5 D 83/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 15/00 Z

B 6 5 D 83/14 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月22日(2015.5.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流体（2）のためのネブライザ（1）であって、
 前記流体（2）を収容した交換可能な容器（3）と、
 前記容器（3）を交換するために取り外すことができ又は開放することができるハウジング部品（18）とを有する、ネブライザにおいて、
 前記ネブライザ（1）は、前記容器（3）と関連していて、使用済み容器（3）をもう一度前記ネブライザ（1）に連結することができ又は前記ネブライザ（1）と一緒に使用することができるのを阻止する安全確保装置（32）を有し、
 前記安全確保装置（32）は、少なくとも前記使用済み容器（3）を前記ネブライザ（1）から取り外した後に前記使用済み容器（3）をもう一度前記ネブライザ（1）に連結することができず又は前記ネブライザ（1）と共に使用することができないよう互いに離れ又は半径方向又は外方に動くことができるロック部分（33b）を有する、ネブライザ。

【請求項 2】

前記ロック部分（33b）は、アーム状である、請求項 1 に記載のネブライザ。

【請求項 3】

前記ロック部分（33b）は、半径方向に或いは押し離し位置に少なくとも部分的に付勢される、請求項 1 又は 2 に記載のネブライザ。

【請求項 4】

前記ロック部分（33b）は、安全確保部品（40）によって共に保持され、又は互いに動いて離れ若しくは半径方向外方に動くことができないよう保持される、請求項 1～3 のうちいずれかに記載のネブライザ。

【請求項 5】

前記安全確保部品（40）は、リング状である、請求項 4 に記載のネブライザ。

【請求項 6】

前記安全確保部品（40）は、最初に前記関連の容器（3）を用いたとき、前記ロック部分（33b）を自由にする位置に動かされる、請求項 4 又は 5 に記載のネブライザ。

【請求項 7】

前記安全確保装置（３２）は、打抜き加工部品又は一体形部品によって形成されている、請求項１～６のうちいずれかーに記載のネブライザ。

【請求項 8】

前記安全確保装置（３２）又は前記ロック部分（３３ｂ）は、金属で作られている、請求項１～７のうちいずれかーに記載のネブライザ。

【請求項 9】

前記安全確保装置（３２）は、前記関連のハウジング部品（１８）からの前記容器（３）の離脱を阻止すると共に前記ハウジング部品（１８）を先に連結したときに前記ネブライザ（１）への前記それぞれのハウジング部品（１８）の再連結を阻止する、請求項１～８のうちいずれかーに記載のネブライザ。

【請求項 10】

前記安全確保装置（３２）は、前記容器（３）を前記ハウジング部品（１８）内に分離できないよう保持し、前記容器（３）は、前記流体（２）の運搬中、圧力発生中及び噴霧化中、前記ネブライザ（１）内において或いは前記ハウジング部品（１８）に対して前後に動くことができる、請求項１～９のうちいずれかーに記載のネブライザ。

【請求項 11】

前記安全確保装置（３２）は、前記容器（３）を出荷状態では前記ネブライザ（１）又は前記ハウジング部品（１８）内で動くことができないよう保持する輸送ロック（２９）を形成し、前記輸送ロック（２９）は、前記ネブライザ（１）への前記容器（３）又は前記ハウジング部品（１８）の連結中又は連結後に開放される、請求項１～１０のうちいずれかーに記載のネブライザ。

【請求項 12】

前記ネブライザ（１）は、前記ハウジング部品（１８）のところに設けられ又は前記ハウジング部品（１８）内に設けられたカウンター装置（２３）を有する、請求項１～１１のうちいずれかーに記載のネブライザ。

【請求項 13】

前記ハウジング部品（１８）は、コーディングを備え、その結果、前記ハウジング部品（１８）を前記ネブライザ（１）に取り付けることができ若しくは前記ネブライザ（１）の内側部品（１７）上でシフトさせることができ又は前記コーディングが前記ネブライザ（１）又は前記内側部品（１７）のところに配置された相補コーディングに合致した場合にのみ閉鎖できるようになっている、請求項１～１２のうちいずれかーに記載のネブライザ。

【請求項 14】

前記ネブライザ（１）は、機械的にのみ働く、請求項１～１３のうちいずれかーに記載のネブライザ。

【請求項 15】

前記ネブライザ（１）は、医学的エーロゾル治療のための吸入器として構成されている、請求項１～１４のうちいずれかーに記載のネブライザ。